



東中だより

令和7年7月 1日（火）余市町立東中学校 発行

校訓…「進取」「利他」

学校教育目標

- 自律…自ら考え判断し行動する
- 尊重…多様性を受け入れ対話し解決する
- 創造…豊かな発想で新たな価値を生み出す

がんばりました中体連後志大会

校長 明 村 秀 之

6月に入り、北海道でも気温が高く、少し蒸し暑い天气が続いています。例年ですと、本州では梅雨が続いている時期なのに、西日本では史上最短で梅雨明けとなるなど、今年も異常気象が心配です。これから夏本番となりますが、猛暑による被害が出ないことを願います。

さて、6月13日（金）の水泳を皮切りに、中体連後志大会が開かれました。開催期が違う競技もありますが、25日と26日は集中開催日として多くの競技が行われました。全部活動を応援にいくことは難しいのですが、時間を調整しながら、本校生徒のプレーを見てきました。

一つのプレーに必死に取り組む姿は、やはり胸を打ちます。どの競技でもこの一年の確かな成長を見ることができました。3年生には迫力と貫禄を感じましたし、2年生は一年前とは見違える姿を見ることができ感激しました。応援している自分が子どもたちから元気をもらいました。

また、今年、特に印象的だったのは、応援している1・2年生の姿です。体育館上のギャラリーから、選手を鼓舞する歌を歌ったり、対戦相手の応援に負けない大きさの声を出したりする姿がありました。試合に出ていなくても思いは一緒に戦っていると強く感じました。自慢できるうれしい姿でした。

勝ち負けに関係なく、心身共に子どもたちの大きな成長につながる部活動の取組であり、中体連という舞台で、すばらしい姿となって現れたと思っています。

7月に後志大会が行われる競技もあります。また、7月後半から8月にかけては全道大会が開催されます。陸上部3名、ブルータス（野球クラブチーム）3名の出場が現段階で決まっています。さらなる大舞台で活躍してくれることが楽しみです。

どの部におきましても、保護者の皆様には、さまざまな面で活動へご支援いただいておりますことにあらためて心より感謝申し上げます。また、多くの応援ありがとうございます。

部によっては、代替わりとなり、2年生が中心となる新体制でスタートする部があります。子どもたちのよりよい成長のため、今後ともお力添えをよろしくお願いいたします。

中体連後志大会で盛り上がった6月ですが、7月7日（月）には1学期定期テストを実施します。一夜漬けではなく計画的に学習することが大切です。継続的に指導をしているところですが、なかなか思うように進まず、悩みと愚痴を校長室で聞くことがあります。自分自身の将来のため、身近にある進路実現のため、踏ん張りどころであること、自分の生活を振り返るツールノート「フォーサイト」を活用するなど、自律（他者に依存せず主体的に行動する姿勢）することの大切さをアドバイスしています。

まもなく夏季休業が始まります。まさに自律した生活が求められる期間です。定期テストや単元テストの結果を受け、計画的に弱点克服を中心に努力を重ねられるよう期待しています。



「教育実習」受入中！

6月30日（月）から7月18日（金）までの3週間、本校卒業生である仙台大学4年：横山真鈴さんの教育実習を受け入れています。

学級指導を学ぶために2年A組に所属し、教科は保健体育ですので全学年対象に入ります。

目標を明らかにして高校・大学と進学し、将来の夢を持って教育実習に臨む話を聞いて、歳の近い先輩の姿から、中学生にとってもキャリア教育の観点から効果的な実習になるのではないかと考えております。保護者の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。